主な登場人物とキャスト

いち子 / 橋本愛さん(主人公)

都会の生活で自分の居場所が見付けられず、生まれ育った実家に戻 る。田舎に戻ったことを「他人と向き合うことから逃げているん じゃないか」と負い目に感じているが、友人のキッコやユウ太、近 隣の住民たちとの暮らしの中で少しずつ成長していく

キッコ / 松岡茉優さん

いち子の一番の友人。お互い思ったことを話せるほどの中ではあ るが、たまにケンカも。二人で料理を食べているシーンが多数

ユウ太 / 三浦貴大さん

いち子の2歳年下の幼なじみ。いち子と同じく、田舎に最近戻って きた。やたらと心に響くことを言う

シゲユキ / 温水洋一さん

近所のキャンプ場の管理人。たまに、いち子たちと料理を作る。作 中でいち子は、彼以外の集落の住民とも食を通して交流

福子/桐島かれんさん

していました。「自分の住む皆さんは、一様に生き生きと

取材に応じて

いち子の母親。恋人らしき外国人と家を出たようだが、作中では多 く語られない。父は作中に登場せず、どうやら女手ひとつでいち子 を育てたようだ。非常に生活力があり、いち子にさまざまな生活の 知恵や料理を教えるが、平気で嘘の知識を教えることも



住民が協力してみんなの食事を準備(8月8日)

江刺エキストラの会

菅原勝幸副会長(66)

すがわら・かつゆき◎同会が 発足した平成9年3月から 「炎立つ」をはじめ、エキスト ラとして多くのロケに参加。 今回、現代劇は初めての経験 で、お祭りの場面に夫婦役の 設定でエキストラ出演



大森行政区

菅原英夫区長(71)

すがわら・ひでお◎映画の制 作部から声を掛けられエキス トラとして出演。そのほか、 行政区長として住民の取りま とめ役として協力。今後の関 連イベントにおいても大森地 区のまとめ役に

舞台となった 舞台となった「リトル・フォと全て衣川区を中心に市内が 原作から映画、そしてロケ 行政区長の英夫さ

の地域の住民間のつながりは

年でした」と苦笑い。「こ

皆さ 橋本愛さんが稽古。演技にも 大森神楽保存会の会員と共に 地域の力が生かされまし 公川区大森をPR と智さん んに喜んでもらえまし 神楽シー かりさんが所属する んなが協力する んは胸を張ります ンの撮影に ることで 季節 た

と1月も

"収穫祭"

と銘打つ

9月

さらに

じゃ どこか懐かしさを覚え、 映画を観る人が何かを感じて 人が生きていく上での営 とこの地域の良さを話し 貴重な経験になりまし ない大切なものを肌で感 「大森地区の四季の風 描写から と遠くを見つ お金

がってほ 自分が何かできることを の発展につなが 大森地区だけでなく衣川 にあふれています 映画ロケにより、 えました。 ていく」そんな様子が垣間見 人が奥州市を訪れてほし 大森地区の う思いから 「共に一つの方向に向かっ ました。「この と考えて行動し、そし はしい。そして多くの巾全体の活性化につなり 大森地区は、 皆さんだ 「そのために とても活気 映画が 話して この 区

(株)ロボット

「全 衣

てが初めての経験で、 川区での生活を振り返り た」と語る優太朗さんは、 ちと共に作り上げてきまし

刺激的

壁井優太朗さん(25)

ね」と前向きに語りました。 今後も継続していきたいです てイベントを行う予定です。

「この映画は、地元の人た

Profile

かべい・ゆうたろう◎鹿児島 県出水市出身。映画の制作部 門に携わる。25年6月から1 年ほど衣川区に暮らし、地元 協力者との調整に奔走。撮影 場所の選定やスタッフ・キャ ストの食事確保など担う



だんさ

やキャ

との交流 たの

「映画の関連イベ

フを伴っての出演も多くあり

「大森でロ

をする

キストラの

みならず、

セ 出

映画には多くの

市民が

区住民も出演

大森神楽保存会

佐藤あかりさん(12)

Profile

みじみ語りました。

さとう・あかり◎市立衣川中 学校の1年生。バレー部に所 属。主演の橋本愛さんが演じ る神楽の場面に向け、一緒に 神楽の稽古を行った。夏編の 回想シーンでは、主役の友人 役を演じる

大森地区住民

小原祐治さん(74)

Profile

おばら・ゆうじ◎大森地区住 民の中でも、原作者の漫画家・ 五十嵐大介さんと親交が最も 深い。撮影時は農作業の指導 や撮影場所、資材・器材の提供 を行った。エキストラとして



大森地区で生活

様子から、 を訪れてくれました」とうれ祐治さんは「今回もロケ現場 れることが多かった」が近く、農作業につい 大森で生活していたとき、家と交流があり「五十嵐さんが 近い生活を送っていたとのこ と。今でも大森地区の人たち 民と交流しながら自給自足に しそうに話してくれ スト」 生活を思い出します」 五十嵐さんは当時、 映画の原作 です。 農作業について聞か 祐治さんは 当時の五十嵐さん ました。 「撮影の という

大森ゆずりはの会

菅原 智さん (79)

Profile

すがわら・ちえ◎撮影場所に 自宅を提供し協力。ロケ当日 は、スタッフ・キャストのみな らず、エキストラの食事も会 の仲間と共に準備し、提供。 秋編"栗の渋皮煮"の場面では、 セリフを伴って出演



区で生活しました。

この

実体

た漫

が、こ

年ほど前に3

多くの会員が参加-が思い ごっこ』のときも自宅が映画提供しながら出演。「*子育で びっくりしま 共演すると聞いたときは、 に出ています。 ん』に出演した橋本愛さんと いますが ら語ってくれました。 智さんも自宅を撮影場所に 微笑みを浮か ました」と目を輝かせな と過去の撮影も振り返 て出演。「〃 したがうれしく ありがた べました。 の会からも 主役の あまち

曽えるといいラの会に登録-ケは、 と語る勝幸さんは 加した人も多 初めて かったと思いま 「今回の ーキスト

> 森ゆず となり 域がサポ ケ期間中は、 サポ

を寄せました。

少し増えれば思っが必要なので、ま

つ若

ています」

キャストなどの食事を提りはの会では、スタット・フ 地域が ツ大丸

主たロケ州のご紹介

王なロケ地のこ紹介			
No. 場所	シーン	住所	
1 大森川上流	ミズの採取	衣川区上大森	CENTER OF STREET
2 大森川頭首工脇	田植え・収穫		
❸ ふるさと自然塾釣り堀	イワナ釣り		10
4 菅原アサ子さん宅	キッコの家	衣川区下大森	
6 旧大森分校	祭り、餅つき		9
6 菅原智さん宅	栗の渋皮煮		
→ 北沢橋付近	くるみ拾い	衣川区長嚢	
❸ スーパー	アルバイト先	前沢区字平前	
		前沢区生母字前野	
● ディスカウントショップ	買い物	水沢区佐倉河字石橋	→ \ 江刺区 /
胆沢区 永沢区			
衣川区 前沢区 3 3			